

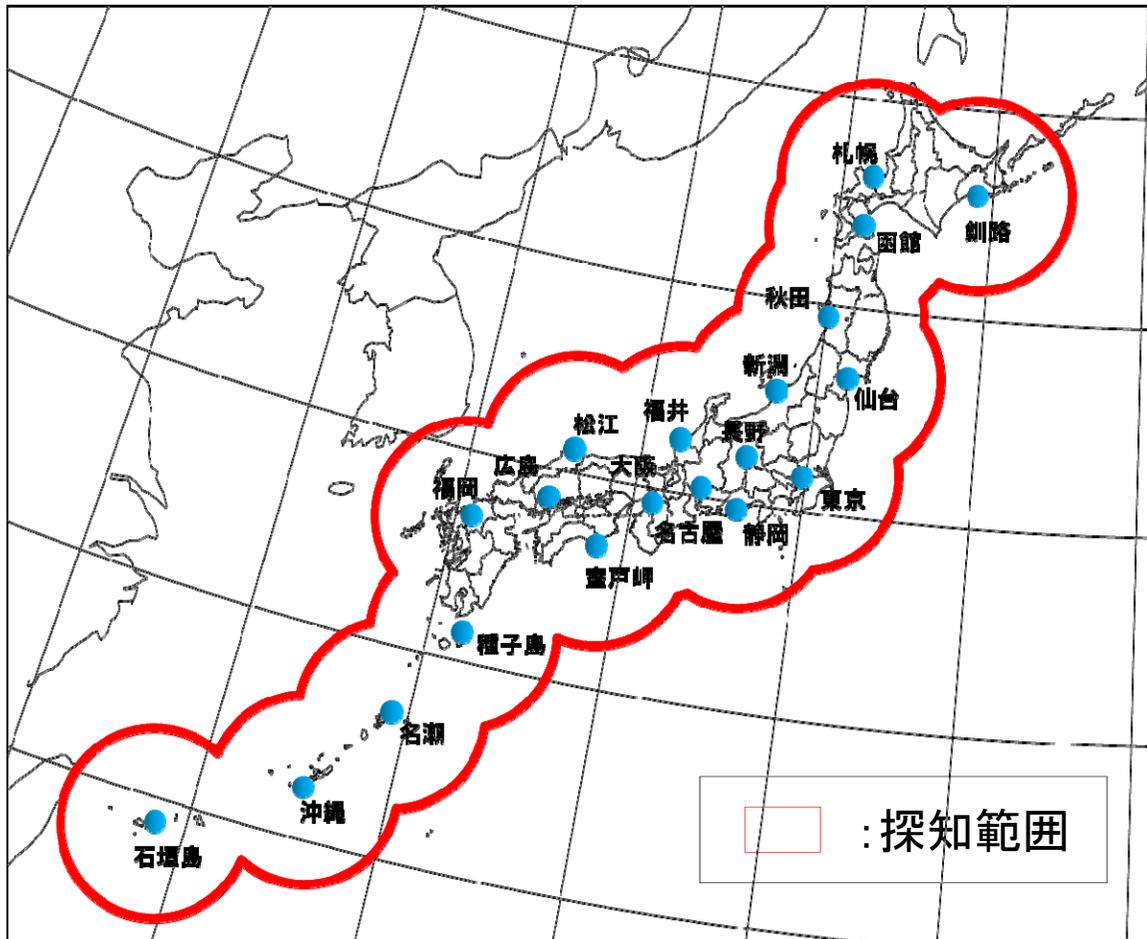
# 気象レーダーについて



# 全国の一般気象ドップラーレーダー

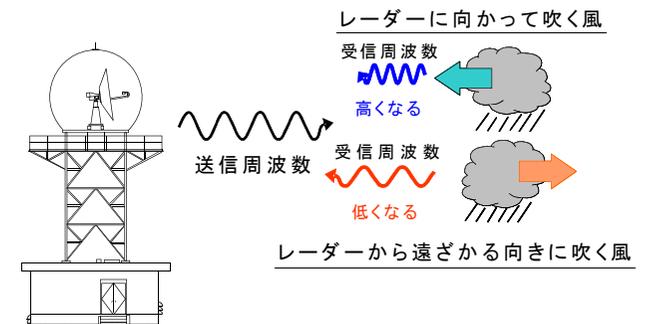
- ・台風・集中豪雨・梅雨前線等に伴う降水の強さの監視を行うため、気象レーダーを20箇所に配置し全国をカバー（探知範囲は半径約250km）。
- ・予報や注意報・警報等や竜巻注意情報等の防災情報発表のための実況監視資料として利用している。

## 気象ドップラーレーダー



### ○気象ドップラーレーダーとは

気象ドップラーレーダーでは、降水の位置や強さの他に、風に流される降水粒子から反射される電波のドップラー効果を用いて、レーダーに近づく風の成分と遠ざかる風の成分を測定することができる。



受信周波数の変化から降水域のきめ細かな風の三次元分布を観測

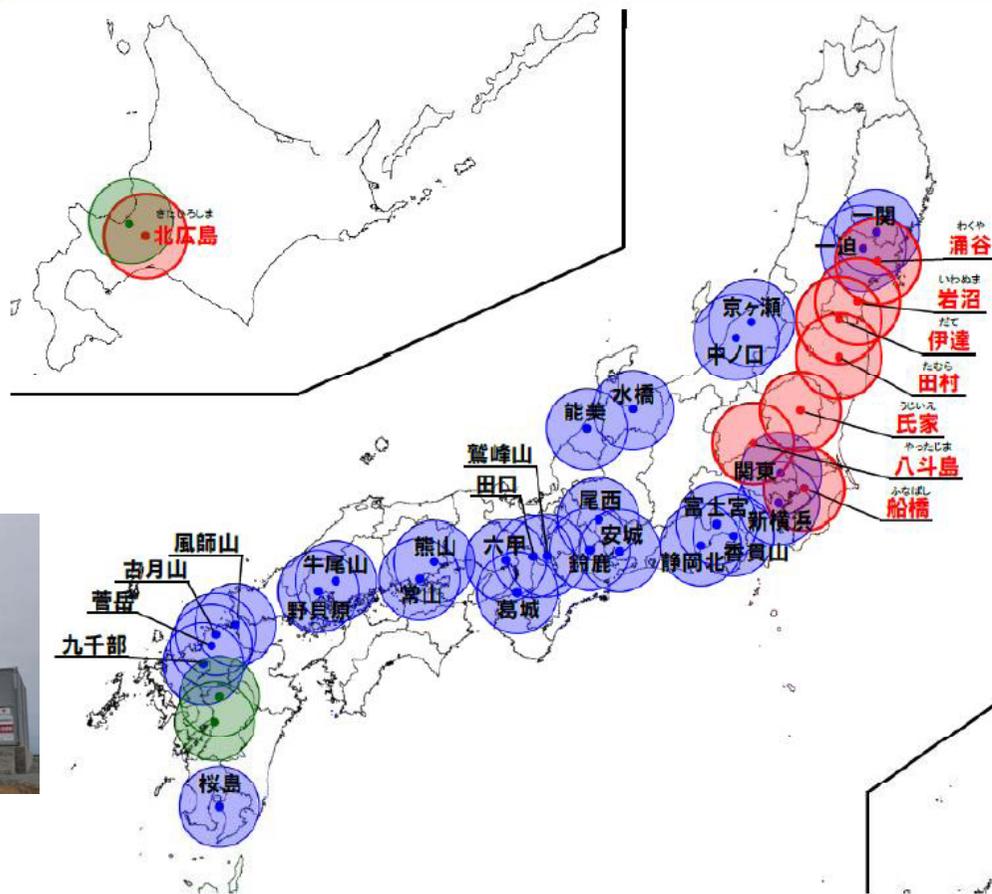
# 全国の空港気象ドップラーレーダー(DRAW)

- ・航空機の離着陸に危険を及ぼす風の急激な変化を探知するために主要空港に整備
- ・探知距離は気象庁の一般の気象レーダーより短い(半径約120km)ものの、高解像度の観測が可能
- ・風の急激な変化(低層ウィンドシアア)を探知し、管制官を通じパイロットに通報



# 国土交通省(水管理・国土保全局)XRAIN(XバンドMPLレーダネットワーク)

- ・局地的な雨量をほぼリアルタイムに把握し、適切な河川管理や防災活動等に活用
- ・ドップラー機能を搭載しており、探知距離は気象庁の一般の気象レーダーより短い(半径約60km)ものの、高解像度の観測が可能
- ・気象庁では、XRAINの観測データ等を活用して竜巻注意情報等の精度を向上させる技術開発等を進めている



## 【凡例】

|  |                    |      |
|--|--------------------|------|
|  | 一般配信中              | 27基  |
|  | 平成25年9月<br>一般配信開始  | 8基   |
|  | 平成26年度<br>一般配信開始予定 | 3基   |
|  |                    | 計35基 |

※円は半径60kmの定量観測範囲を示す。



XRAIN(能美サイト)